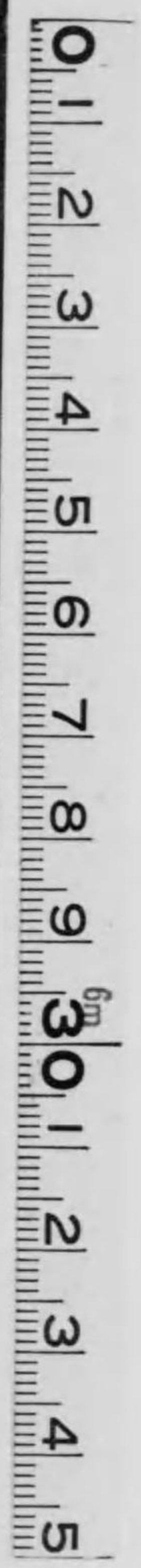




11  
2  
596

往言百卷  
下

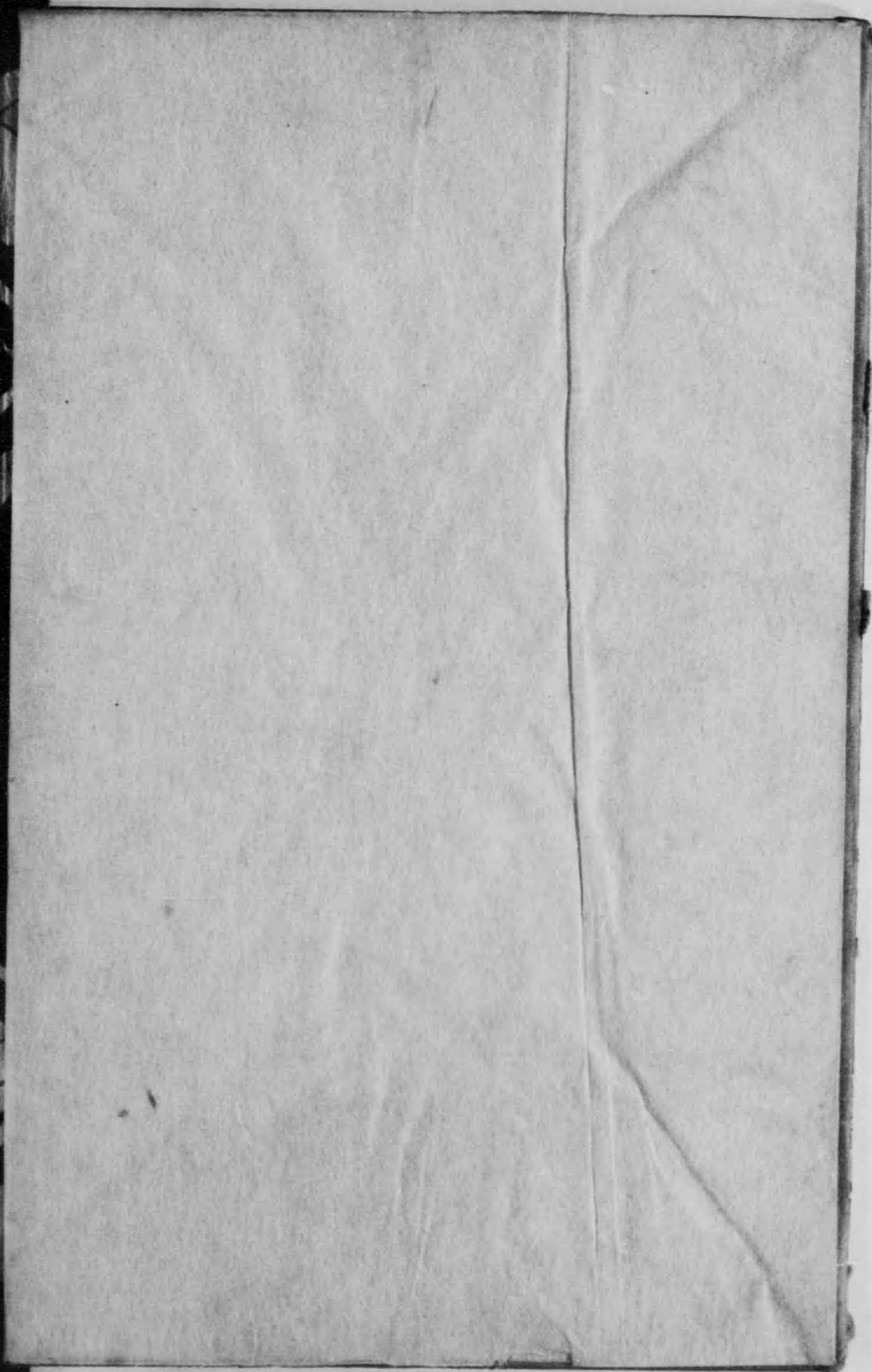


始



狂言百番

下



11-596



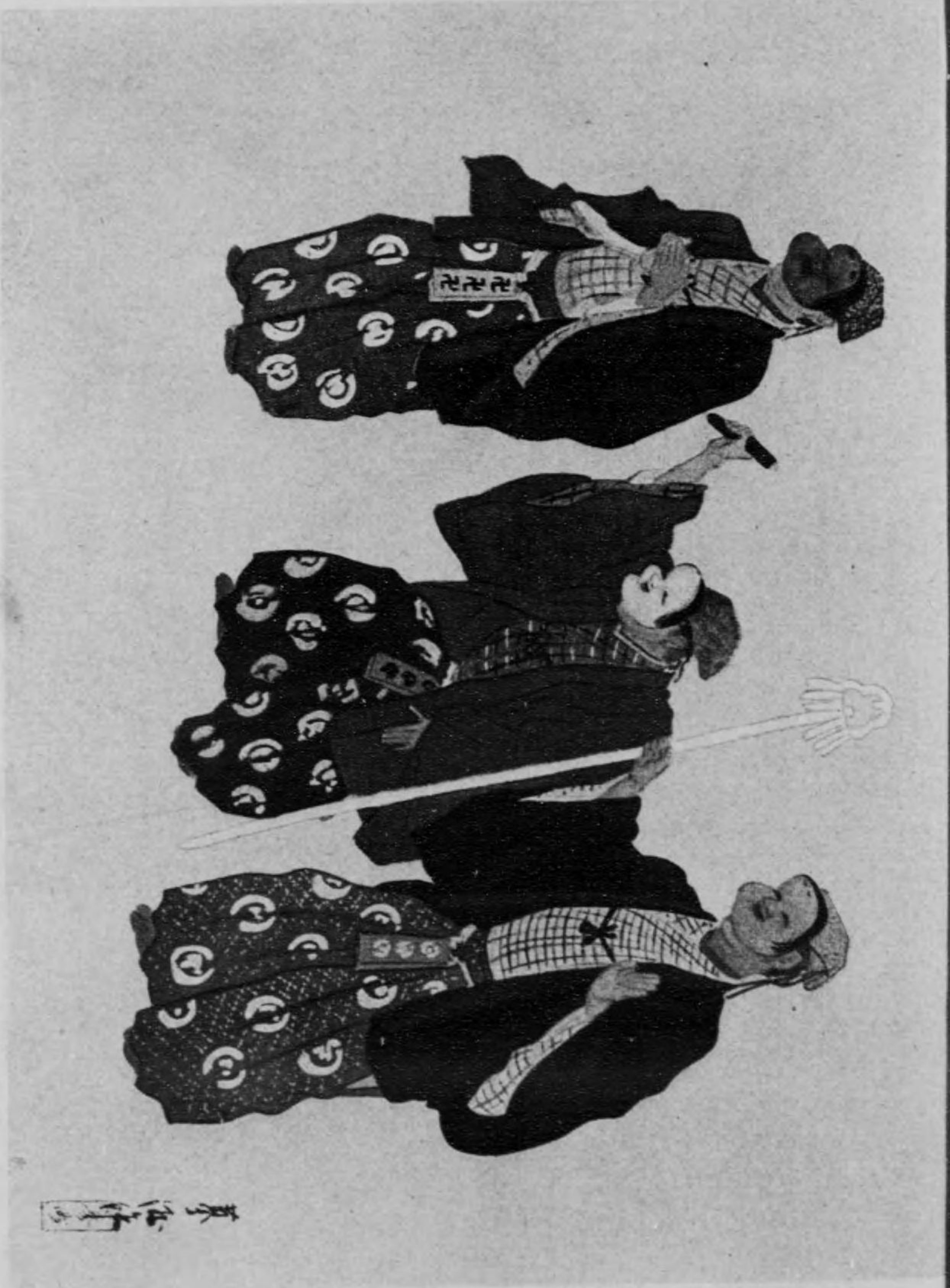
大正  
12.11.3  
内交

11-269



東海道

二人大名「けうにくはやる起上り小坊子ついでるぶ」



六地藏 「フエー一氣にいらぬ。まあらしめく。」





八尾「エーうるさいく」

二人袴



聳  
「道せばうらぬ大君の、



筆 土



「サーサつませられい〜」

筆土



鍋 八 撥



喝 鼓 相 舞、



男 鏡



女  
「しよせん此様な鏡は童が打碇て呉れう

悪坊



「こゝかまへたが早かろうか」

夏多一海化林参画

蟹 山 伏



「ア〜イタ〜蟹が身をはそみました」

夢海山

槌の寶



主  
「南無寶く、

春正

薑 酢



「すのこゑんにぞ畏まる」

山 盆



美作

主  
「さればにぞひれをたてた。」

腹 鎌



太郎  
「イヤーヤ」



煎物



「煎物召せ！」

法師ケ母



女  
「法師ケ母は只一人涙にむせぶ計りにて親の元にぞ歸りける。」

東海軒

不聞座頭



「國も動かぬあらかねの」

雁 礫



大名  
「是は先づこの當りから射よふぞ、」

立 不 腹



「ソーリヤ腹を立つる」

絢 繩



太郎冠者  
「内に居て繩を絢へイヤ申此得物の繩をなへで御座る、」

延 命 袋



「童のほしいのは是がほし」と

王 仁





鎧



春  
風  
作

太郎冠者

「初春の能き緋をどしのきせながらは黒糸をどと成ぬべし。」

座 横



牛伯勞  
「汝畜生なれども能う聽けよ、」

夢海軒

水 掛 掣



夢  
海  
任  
夢  
海

「私に水をかけさせられたな」

御茶の水



「清水汲みにこそきに來れ」

黄瀬川

梟



法印「如何に悪心深き梟なりも鳥の陰の結んでかけ明王のさやめ  
くに懸て今一ト祈りいのるならばなごか寄特のなりるべし、

東海道

三人片輪



景清小舞  
「何某は平家の侍悪七兵衛、景清と、」

頭 座 鞠



尙次  
「ありやありや、

東洋軒

石 千 二



夢  
見  
記

大名  
「二千石の松にてぞ千歳を祝ふ後迄も其名は朽せざりけれ」



武 悪



武悪  
「御目に懸たならば御供して來よとの仰で御座る、」

暮海舟

子 盗 人



「いとし殿子を肩にのせてくく御所へ参らうくく」

被 箕



仕手  
「濱の真砂は續つくし盡すとも。」

悪太郎



悪太郎

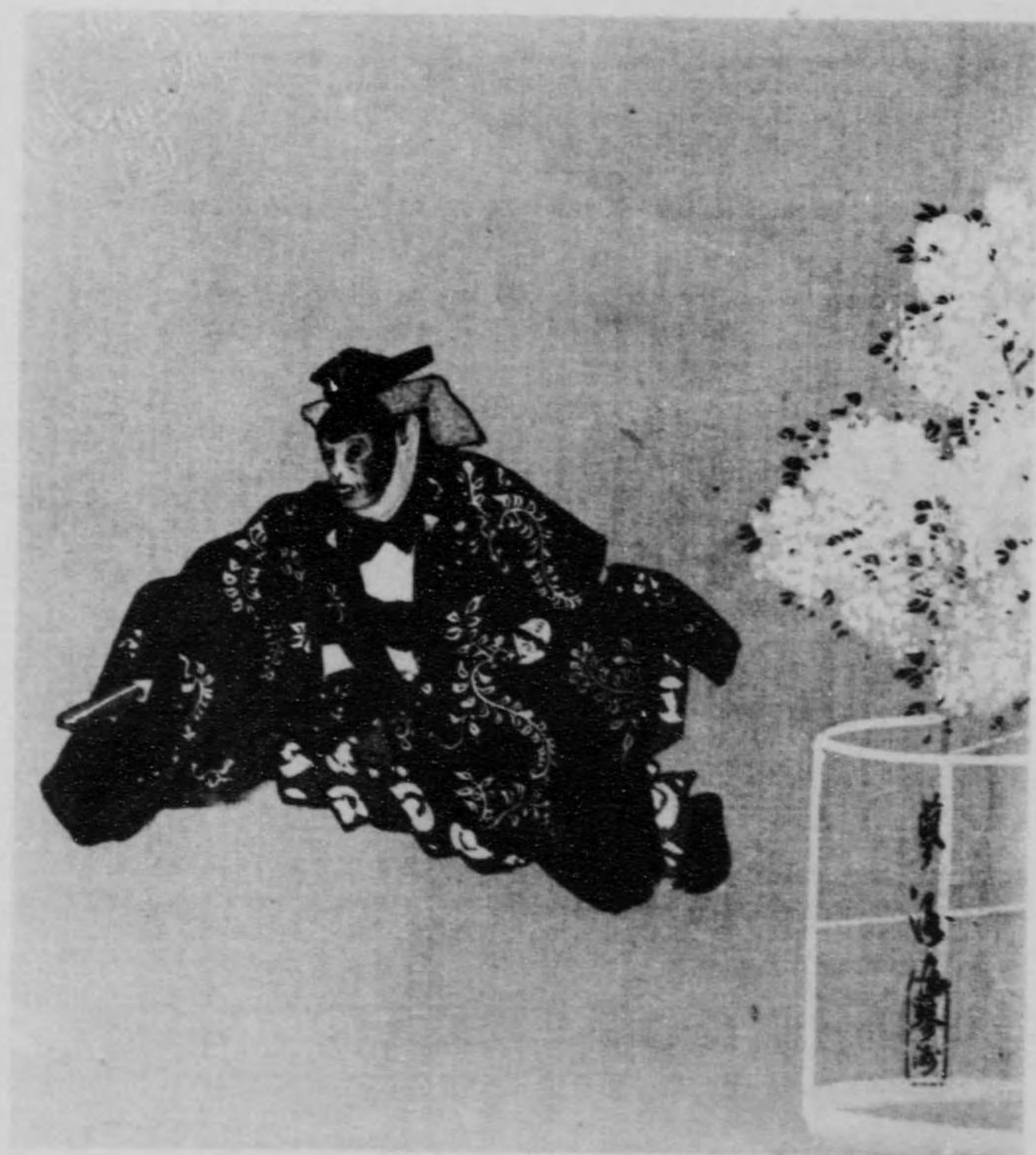
悪太郎  
「サアつがせられい、」

川 取 名



「名を返さずば此手をコーねじ上るぞ」

猿 智



「花の梢をはい出で」

猫

鶏



藤三郎

「又是成者は私の一子で御座る、」

藤三郎

薩摩守



船次  
「船賃は何とじや、」  
出家  
「船賃は薩摩守、」



分 節



鬼  
「是は寶萊ヶ島の鬼です。」

菊池

針 釣



太郎冠者  
「釣ろよく美目の能いのを釣ろよく、」

鷄 聒



聒

「かゝりのさわにぞ立たりけるクウ〜コキアクウ〜」

首 海 洋

重 喜



東山

重喜  
住寺  
「何と能うもめましたか、」  
「一段と能うもめておりやる。」

朝比奈



鬼  
「ヲ」夫よ〜こちらへ来い〜

腕 空



太郎冠者

「ヤイ已夫へ出たは日頃世上に取沙汰の高い待伏では無いか、

東洋画

善 祐



「骨打れや腹立やとて」

真子海峯画

若 市



若市  
「童は此の邊りに居住致す若市と申す尼で御座る、」



花 盗 人



三位

「此春は花の元にて繩つきぬ鳥帽櫻と人は云なり、

兼子画

頭 座 猿



「そのようなすねた事をせずとも、もそつとこちへ寄らしめ」猿キヤ

拔 売



太郎冠者  
「水鏡影寫しかな」

藤田鳴鶴

牛 蝸



山伏  
「でんく虫く」  
太郎冠者  
「それよく」

真海作

米 市



真之丞

仕手

「某も俵藤太殿の御内には一騎當せんと呼ばれた太郎冠者じゃ、

水 清



「已れ夏蚊帳をつらさぬざな」

人 盜 蜘蛛



盗人  
「盗人の晝來るひまの無き儘による手にかゝる蜘蛛の糸、

曾討會  
大藤內  
曾我問



大藤內  
「吉備の宮の神主大藤内是に有りや、



大正十二年十月十五日印刷  
大正十二年十月二十日發行

不許  
複製

發賣所

發賣所

編輯者 山口 蓼洲

發行兼印刷者 山田直三郎

美術書肆 會社 芸艸堂  
京都市寺町通二條南入  
振替口座大阪二五八番 電話五二九〇番  
陳列所電話五三〇四番

美術書肆 會社 芸艸堂支店  
東京市本郷區湯島二丁目一番地  
電話五三六〇〇番  
振替口座東京四〇九四〇番



11  
2  
596

終

